

## 特集

# スポーツ×ICTの現在地

“2025年の市場規模15兆円”とぶち上げるスポーツ産業界は、東京オリンピック・パラリンピック（TOKYO 2020）をスプリングボードにする。それらを牽引する役割がICTの活用にある。本誌独自の視点で注目した15兆円産業化をリードするICT関連の動きである。

- ・2023年開場を目指す北海道日本ハムファイターズ新球場「ボールパーク」構想
- ・TOKYO 2020訪日外国人4,000万の新市場へCNNブランド戦略
- ・TOKYO 2020開催組織委員会の情報基盤計画
- ・障害者が期待するバリアフリースポーツ「eスポーツ」

※記事（P20）にある災害（津波）発生時の避難行動を実証した音響通信技術を参考にしてもらいたい。  
災害大国ニッポンとして大規模イベントの対応として検討したい提案である。

（企画担当：吉井 勇・本誌編集部）



工事が進む国立競技場はスポーツのどんな醍醐味を見せてくれるのだろうか